

嘉永3年(1850)

植櫻楓之碑建立

嘉永2年(1849)奈良奉行川路聖謨が東大寺・興福寺に桜や楓を奉納。これを機に寺社や町民が協力し高円・佐保地域まで植樹を広めた。現在の奈良公園の緑化のもとをつくりだした。



佐保川の桜並木に咲く樹齢170年の川路桜
幕末に活躍した名奉行「川路聖謨」ゆかりの桜

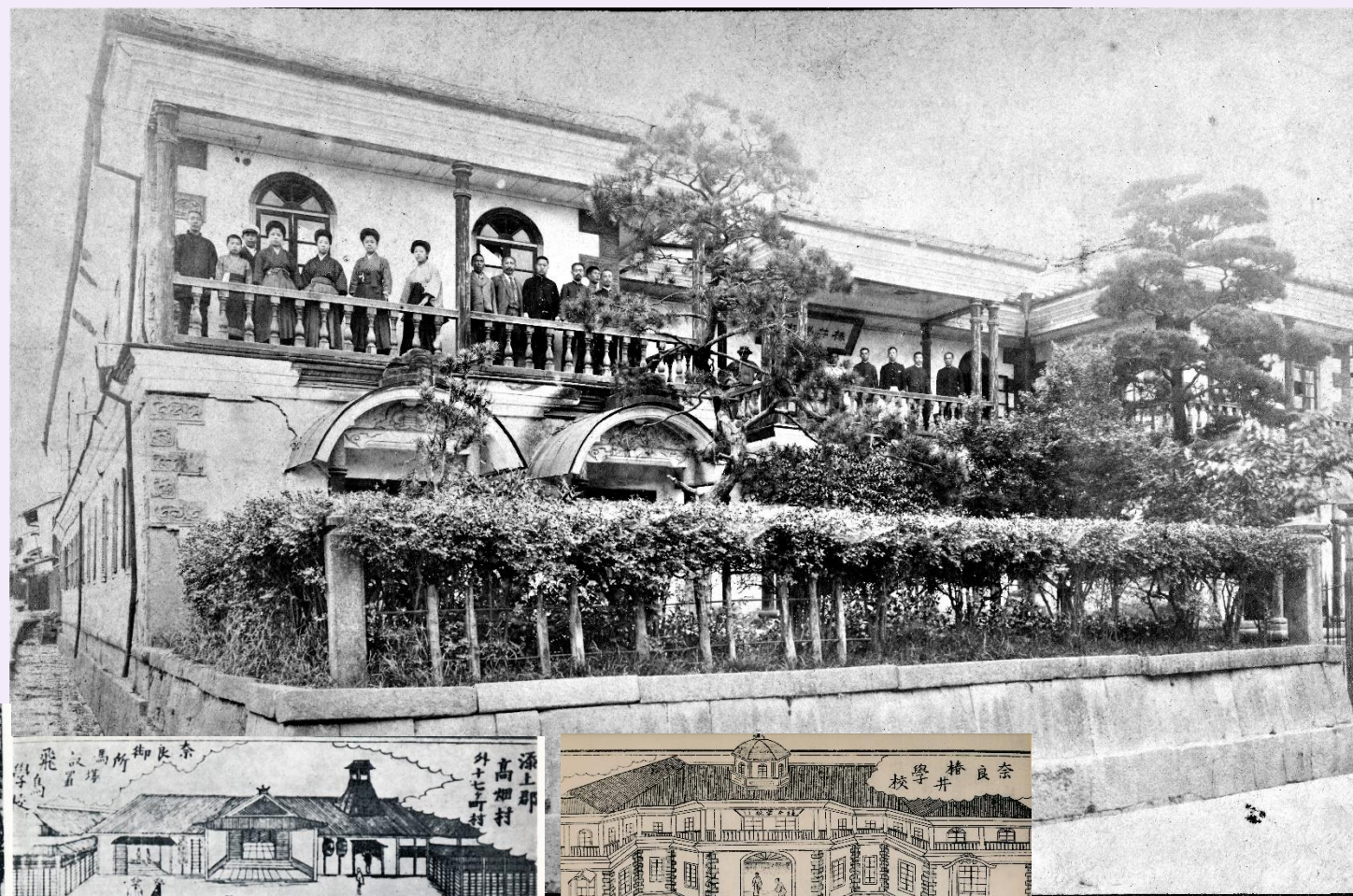


興福寺五十二段わきに嘉永3年(1850)に建てられた碑。

明治5年（1872）小学校の始まり （奈良の小学校150周年）

椿井小学校
明治9年新落成校舎

明治5年、学制が定められ、
小学校が設けられた。
2年で10校が開校。
その後、統合があり、明治
16年（1883）には鼓阪、飛
鳥、中辻（現済美小）、椿
井、大豆山（現佐保小）の5
校に整理された。



鼓阪小学校



飛鳥小学校



椿井小学校

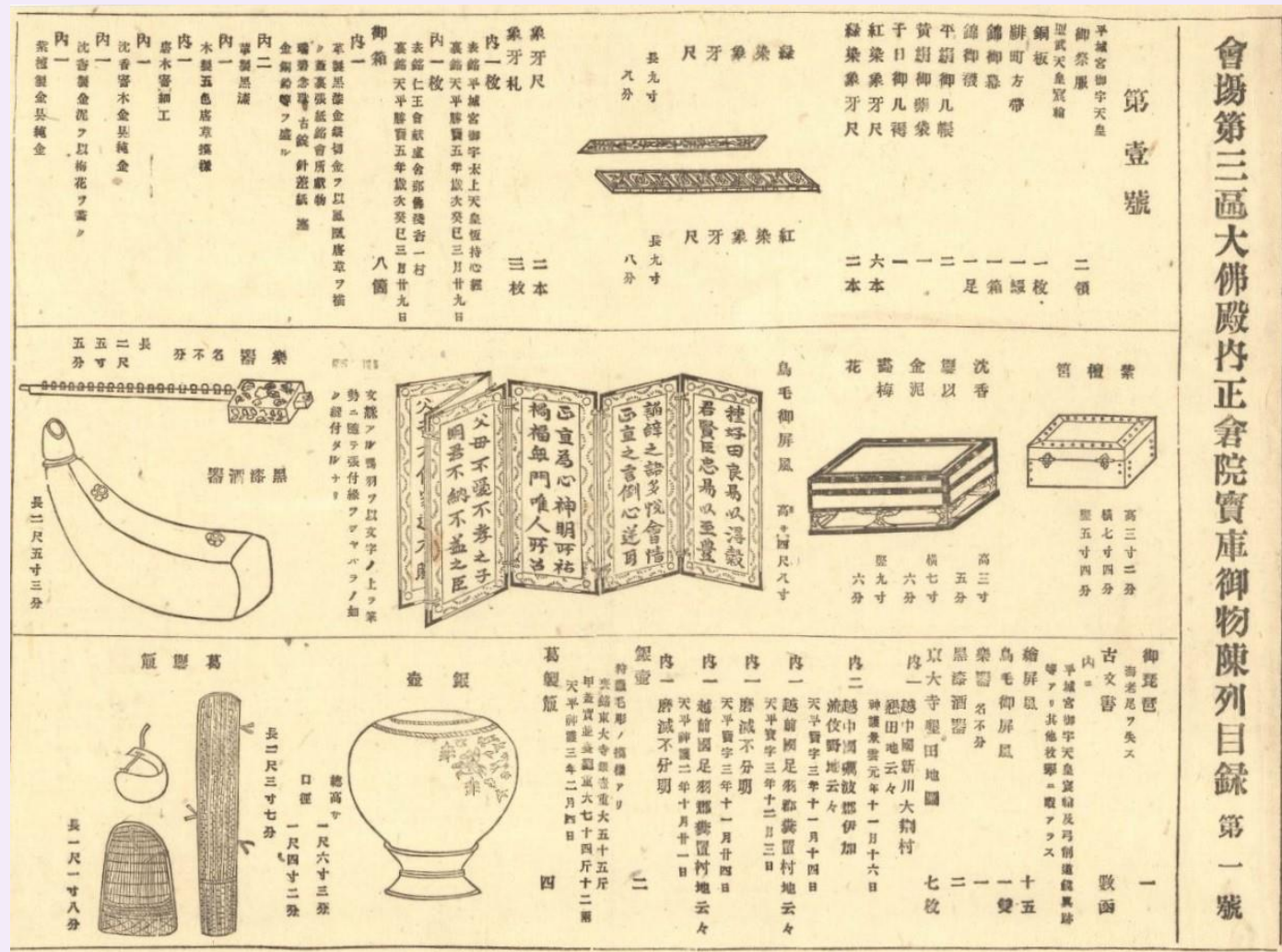
明治8年(1875)「奈良博覧会」初の開催

「奈良博覧会」初回は明治8年、東大寺大仏殿・回廊にて開催された。

奈良県内の寺社などが所蔵する様々な文化財を展示、現在の産業見本市に相当するものでした。

第十八次(明治27年)まで開催された。

奈良が観光都市、文化財の都市として正倉院展等以降発展の礎となる。



明治8年「奈良博覧会」
「会場第三區大佛殿内正倉院寶庫御物陳列目錄」の一部
奈良県立図書情報館蔵 (ID151218269)

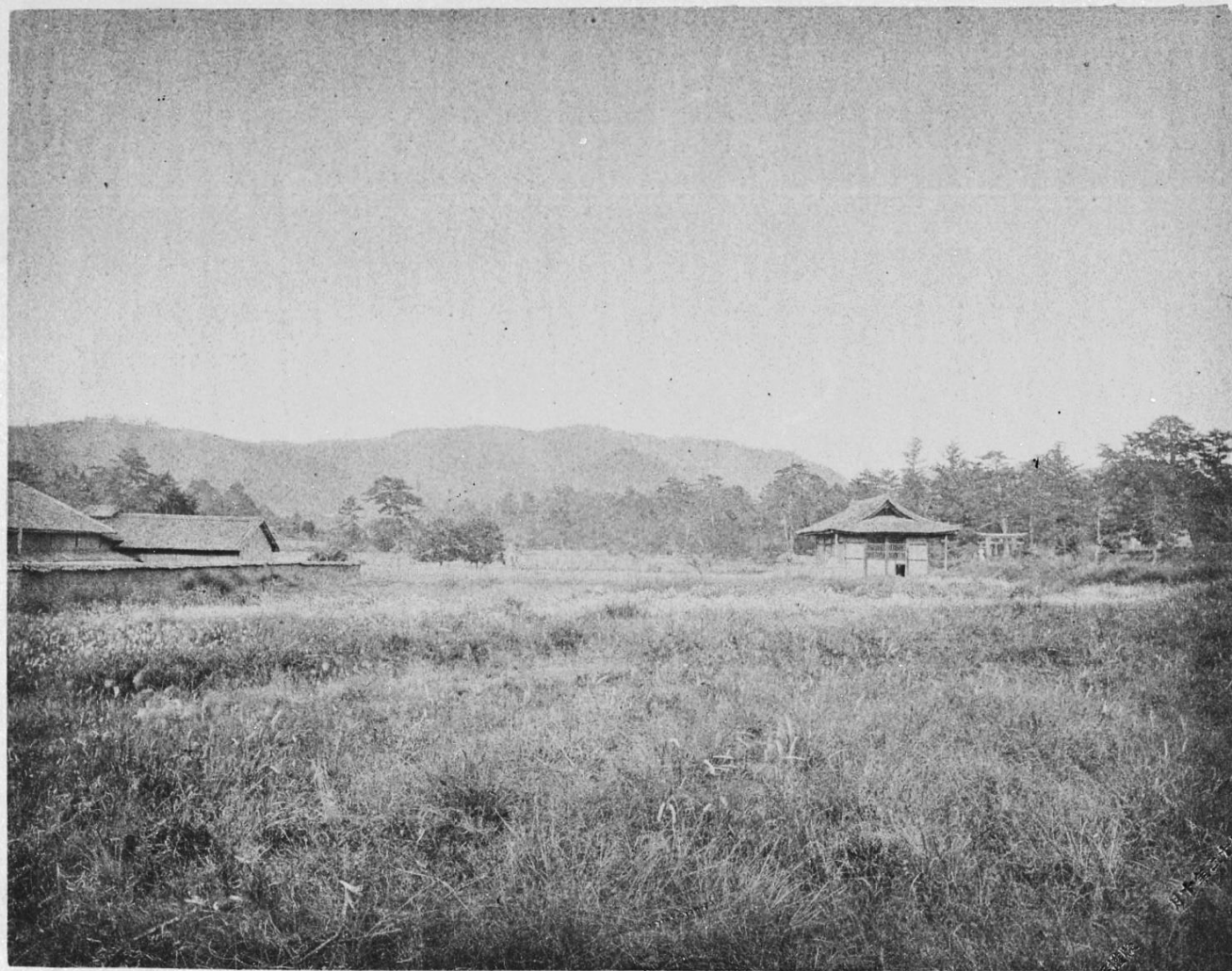
明治13年(1880) 奈良公園誕生

明治6年各県に対し公園開設を布達。奈良県はこれに賛意を表していた。

しかし、明治9年奈良県は堺県に合併され廃県となった。町は衰退し観光客も減っていた。

明治10年、奈良の有志が土地繁盛の一助として公園地の無償貸与を堺県知事に出願。

明治13年になって、内務卿伊藤博文は堺県の申請を許可し、奈良公園が誕生した。当初、奈良公園は旧興福寺境内の一部のみだった。



明治初期の春日野風景

御笠山と一の鳥居が見える。当時奈良は堺県。

日本勝景写真帖(明治12年出版)(国立国会図書館デジタルコレクタ蔵)

明治21年（1888）6月

フェノロサ氏が浄教寺で講演



フェノロサ氏は日本の美術を救った、明治初期に来日した米国人。明治政府の調査施設代表。

法隆寺夢殿の厨子を開扉させた。

明治21年浄教寺本堂で「奈良の諸君に告ぐ」と文化財保護の重要性を訴えた歴史的講演。その時、岡倉天心が通訳をした。



フェノロサ氏が講演した浄教寺本堂（奈良市）

写真：昭和初期（昭和11年焼失前）

写真提供；浄教寺

明治 22 年(1889) 奈良県倶楽部及び公会堂 (奈良公園春日野)

御蓋山を遥拝するため、第六十八国立銀行（南都銀行前身）と第三十四国立銀行の両支店が旧四恩院跡に集会所として「奈良倶楽部」を建てた。

明治 33 年奈良県が買収した。

その後、明治 36 年新館を奈良県倶楽部の北部に隣接して建てられ「奈良県倶楽部及び公会堂」と呼ばれた。

昭和 58 年閉館解体。



奈良県倶楽部

奈良名勝写真帖（発行：大正 4 年）より

奈良県立図書情報館蔵

明治23年(1890) 大阪鉄道「奈良駅」開業

奈良県はじめての鉄道路線は、
「大阪鉄道」という民間会社による営業であり、国有化はしばらく後のことになりました

明治23年 奈良-王寺間
明治24年 王寺-高田間
亀の瀬の工事完了し

明治25年 湊町(大阪難波)-奈良間がやっと開通。

明治29年 奈良-京都間奈良鉄道開通。

明治40年鉄道国有法によってすべて国鉄になった。



写真は昭和初期の国鉄奈良駅前広場

写真：奈良市史

明治28年（1895）4月29日

奈良帝國博物館開設（現 奈良国立博物館）

近代化遺産

奈良博覧会などの実施も功を奏する形で、国家事業として国立博物館が設置されることになった。現在も使用されている重厚な「近代建築」の建物が奈良公園内に建設された。

草創期の逸材建築家・片山東熊の設計で当時としては超一流洋風建築だったが、わが国美術の古建築寺院の諸堂のなかに、地元住民の目には異様にうつり批判をうけた。



奈良帝国博物館 大正初期

写真：奈良名勝写真帖（大正3年発行）奈良県立図書館蔵

明治 28 年 (1895) 12 月 15 日 奈良県庁舎完成

近代化遺産

明治 20 年 (1887) 奈良県が大阪県から独立して再設置された。興福寺食堂跡の「寧楽書院」を庁舎として転用していた。明治 28 年に県庁舎が新築された。(右写真)

和風木造建築。設計は長野宇治。先に建設された奈良皇室博物館が洋風建築でこの地に馴染まない和不評のため、木骨様式を用い、屋根や柱型など和風の様式を取り入れた洋風建築とした。



明治 28 年に新築された奈良県庁舎

写真：「大和名勝写真帖」大正 3 年発行より

奈良県立図書情報館蔵

明治 28 年（1895）正岡子規 「對山樓」に宿泊

「柿食べば 鐘が鳴るなり 法隆寺」

對山樓は江戸末期創業。明治初年頃、奈良唯一の高級旅館。伊藤博文、山県有明、山岡鉄舟、滝廉太郎、岡倉天心、フェノロサなども訪れた。

明治 28 年正岡子規が宿泊し「柿食べば・・・」を作る。

京都方面から奈良への入口で転害卿は栄えたが、明治 23 年に鉄道が開通し奈良駅ができてから衰退した。

大正 8 年一度廃業。戦後再び営業。昭和 38 年に完全廃業。

その後、平成 3 年、同場所に天平俱樂部が建った。「子規の庭」は平成 18 年開園。



明治 20 年頃の對山樓

写真提供：天平俱樂部

「子規の庭」 奈良在住の子規子孫の方を中心に、柿の古木周辺を作庭され日本庭園を平成 18 年（2006）開園した。

右写真：平成 28 年 大西瞳氏



明治 29 年（1896）神鹿角伐り年中行事化

寛文 12 年（1672）鹿の角による事故防止のため奈良奉行の溝口信勝により始まった。明治元年に餅飯殿町で角伐り実施、以降町中では中止。

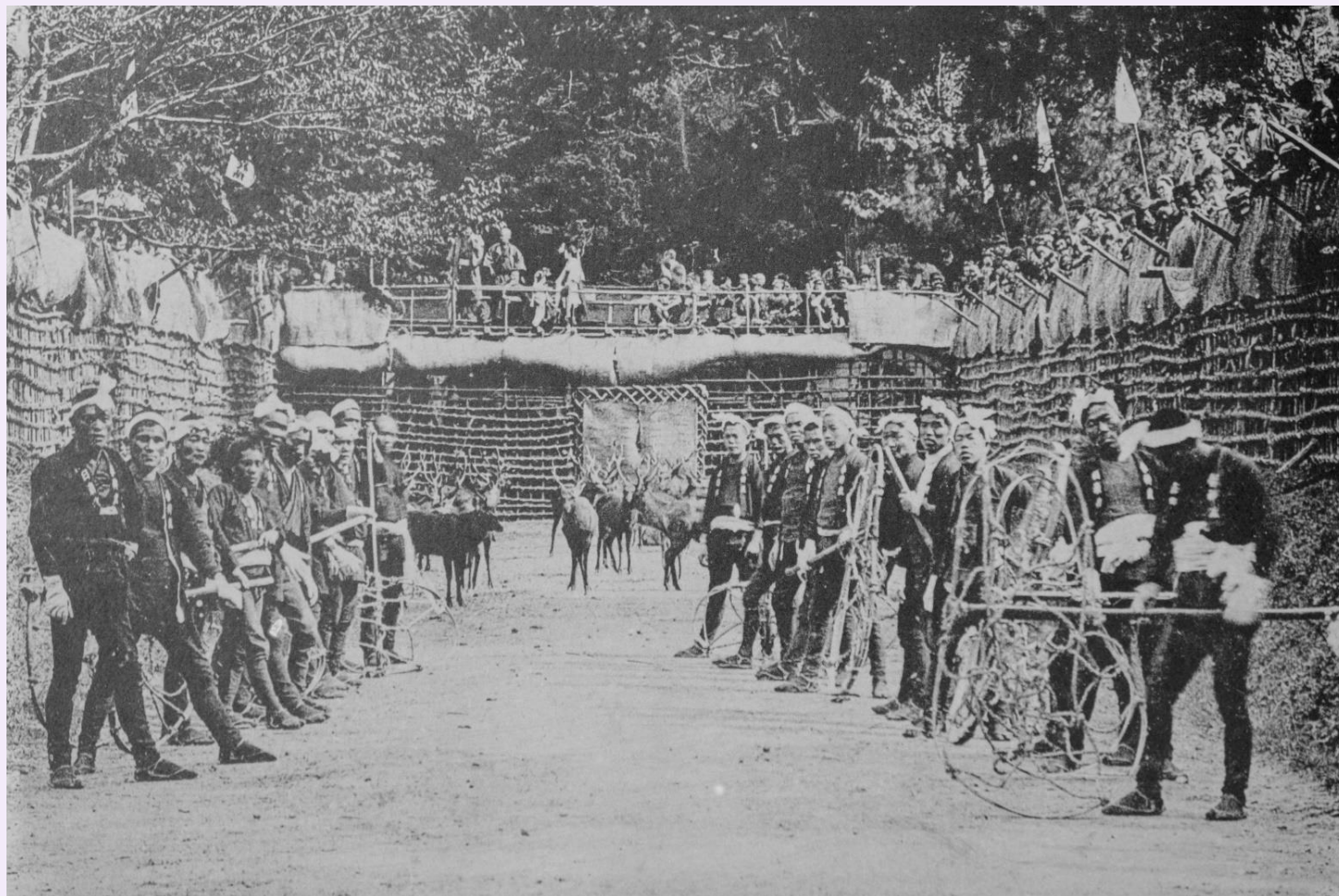
明治 20 年角伐り再開したが中止。

明治 24 年春日神社一の鳥居内にて角伐実施

明治 29 年（1896）角伐り年中行事化

大正 14 年（1925）に残酷だとして中止。

昭和 4 年から現在の角切場で復活した。



神鹿角伐

奈良名勝写真帖（大正 3 年発行）より 奈良県立図書情報館蔵

明治31年(1898)大仏鉄道開業

大仏鉄道は、当時の関西鉄道加茂と奈良を結ぶ鉄道の愛称。

明治31年4月に加茂から大仏駅間で開業。翌年奈良まで延長。

明治40年、加茂駅から木津を経て奈良駅へ至る路線が開通。急坂の難所を抱える大仏鉄道は同年に廃線になった。

黒髪山トンネルは廃線後生活道路として使われていたが、昭和41年頃、道路拡幅で山ごと取り壊された。



黒髪山トンネル跡
平成18年
木村守男氏撮影



大仏鉄道記念公園
2011年福川美佐男氏撮影

近代化遺産



旧関西鉄道大仏線黒髪山トンネル(奈良側) 取壊し工事中
山は削られ、新し鉄橋の橋脚が見える。

昭和41年(1966)3月20日撮影：木村守男氏

明治31年(1898)「日本林業の父」土倉庄三郎 土倉庄三郎「吉野林業全書」発刊

「日本林業の父」土倉庄三郎
(1840~1917)

父から山林経営手法を学び、吉野林業を集大成し、日本全国に植林の意義を広め林業興国を説いた。

「吉野林業全書」では土倉式造林法で、あえて密植え後間伐により「無節」「通直」「完満」に育てる方法を確立。また

- (1) インフラ整備 (水路の吉野川整備・道路整備)
- (2) 教育支援 (地元小学校創立・同志社大学・日本女子大創建に貢献)
- (3) 吉野の桜の買い取り救出ほかを行った。

千年杉と土倉庄三郎翁 (右より二人目)
(大和大瀧榎谷林生堂発行)

写真提供：成瀬匡章氏



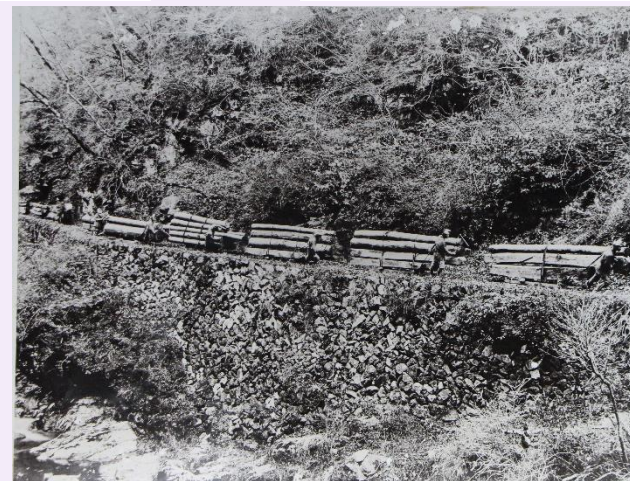
(大和大瀧榎谷林生堂行)

千年杉と土倉庄三郎翁(右より二人目)

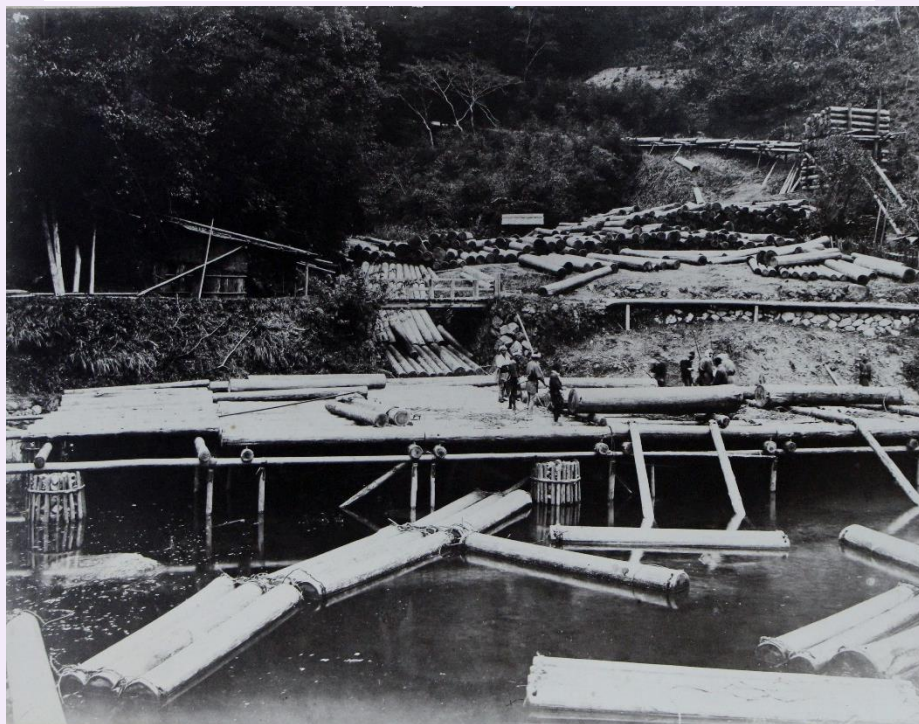
吉野林業 搬出風景（吉野山林写真帖より）

川上村神の谷木馬

「吉野山林写真帖」明治36年（1903）大阪で開催された第5回内国勸業博覧会を見込んで北村写真館が作成。 写真提供：吉野材林振興協議会



（東吉野村）鷲家口修羅および筏作業



蟻通堰に繫留された筏

明治31年（1898）奈良市制開始

明治9年に奈良県が廃止され、堺県に続いて大阪府に属しました。明治20年に奈良県の再設置が認められた。2年後、市町村制が定められたが人口不足で市になれず、明治31年市制が施行された。当初は3万人程度の人口であり、その後周辺自治体を合併して次第に大きな街に成長していきます。



奈良市役所 大正3年頃

右は事務室で大正3年の改築、左は市会議事堂で明治41年の改築。

奈良名勝写真帖（大正4年発行）より 奈良県立図書情報館蔵

明治 33 年 (1900) 若草山山焼きをはじめて夜間実施。

若草山山焼きは昼間に開催されていたが、明治 33 年 2 月 11 日 (紀元節) から夜間行事になった。

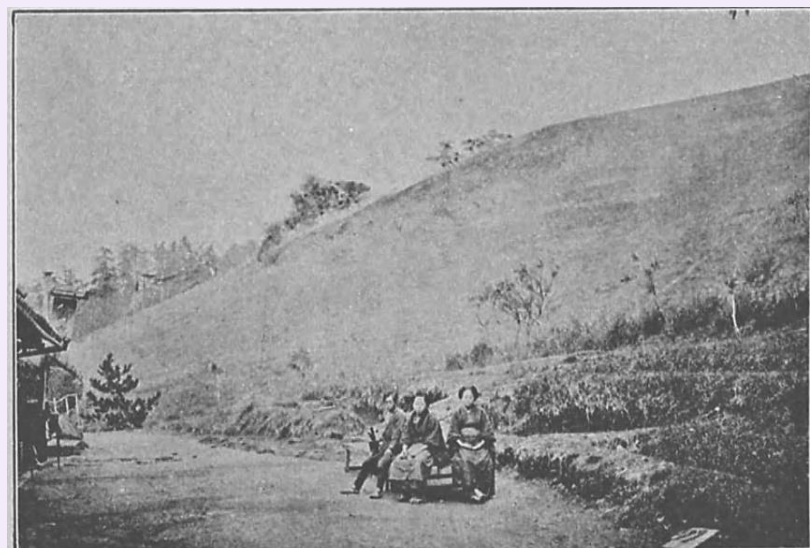
ただし、昭和 14 年~20 年は第 2 次世界大戦の激化に伴い、防空の上から昼間実施。

昭和 21 年夜間行事として復活。

昭和 25 年から成人の日 (1 月 15 日) 開催

平成 11 年から成人の日の前日日曜日実施

平成 21 年から 1 月第 4 土曜日に開催に変更。



(大和) 三笠山

明治 33 年頃の若草山「日本の名勝」(明治 33 年出版) より



昭和 10 年頃の山焼き

写真：道馬軒写真館



令和 4 年の山焼き 写真：大西瞳氏

明治 33 年 (1900) 春日奥山周遊道路が完成

春日奥山周遊道路は、若草山と春日山の山峡の月日磐から水谷川をさかのぼり鎌研山に至り、花山と芳山の間を通り地獄谷近くに出て春日山南辺をまわり滝坂に出る。若草山の鶯塚、鶯滝、春日山石窟仏、滝坂の石仏が含まれる。



滝坂楓 紅葉の名所 大正初期

奈良名勝写真帖 (大正 4 年発行) より 奈良県立図書館蔵

明治 35 年（1902）奈良県物産陳列所開館

近代化遺産

鳳凰堂を模して近代和風建築で設計は関野貞。木造、棧瓦葺、壁は漆喰塗で、外部を真壁造り。中央楼上層の飾り窓、円形窓も関野の設計。

県内物産を陳列

昭和 27 年（1952）奈良国立文化財研究所春日野庁舎として使用。平成元年（1988）に仏教美術資料研究センターとして開館。



鳳凰堂を模して造られた奈良県物産陳列所

奈良名勝写真帖（大正 4 年）より 奈良県立図書情報館蔵

明治 36 年（1903）旧奈良県公会堂建立

近代化遺産

明治 36 年（1903）奈良倶楽部を新館建築し、奈良県公会堂は二つの建物からなり、南二号館はもと明治 21 年に建てた奈良倶楽部を 33 年に県が買収し集会所または迎賓館として利用しようとしたもの。

北一号館は新しく建てたもの。

昭和 58 年（1983）老朽化のため閉館・解体

平成元年（1989）奈良県新公会堂が開館。「奈良春日野国際フォーラム薨～I・RA・KA」リニューアル



奈良県公会堂 新館北一号館

大和名勝写真帖（大正 4 年発行） 奈良県立図書館蔵

明治41年（1908）若草山 人文字「奉迎」 （陸軍特別大演習）

日露戦争は苦戦の中勝利。
戦勝勢いを示すべく天皇を
統監とする陸軍特別大演習
を奈良地方で実施。

職員全児童金堂前に参集
し、旗行列をして三笠山に
登り「奉迎」の文字を記し
た。

この光景を天皇が御賛辞さ
れた。

明治41年 奈良連隊が
設置された。

（現在の奈良教育大学周
辺）



若草山の人文字
写真提供：椿井小学校

明治41年(1908)日本最古の刑務所「奈良監獄」竣工

近代化遺産

設計は山下啓次郎氏、建設の大半は受刑者の労働により、レンガも構内の窯で自給した。

赤レンガの塀に囲まれ中央に放射状に伸びた収容棟（ハビランド・システム）がある。

江戸時代の奈良奉行所を前身として

1909年「奈良監獄」業務開始

1922年「奈良刑務所」に改称

1946年「奈良少年刑務所」に改称

2017年 重要文化財に指定

3月31日廃庁

2023年予定

「監獄ホテル」として活用されることになり一躍注目を浴ている。



左 正面表門 レンガ塀向こうに庁舎

平成9年撮影 福川美佐男氏

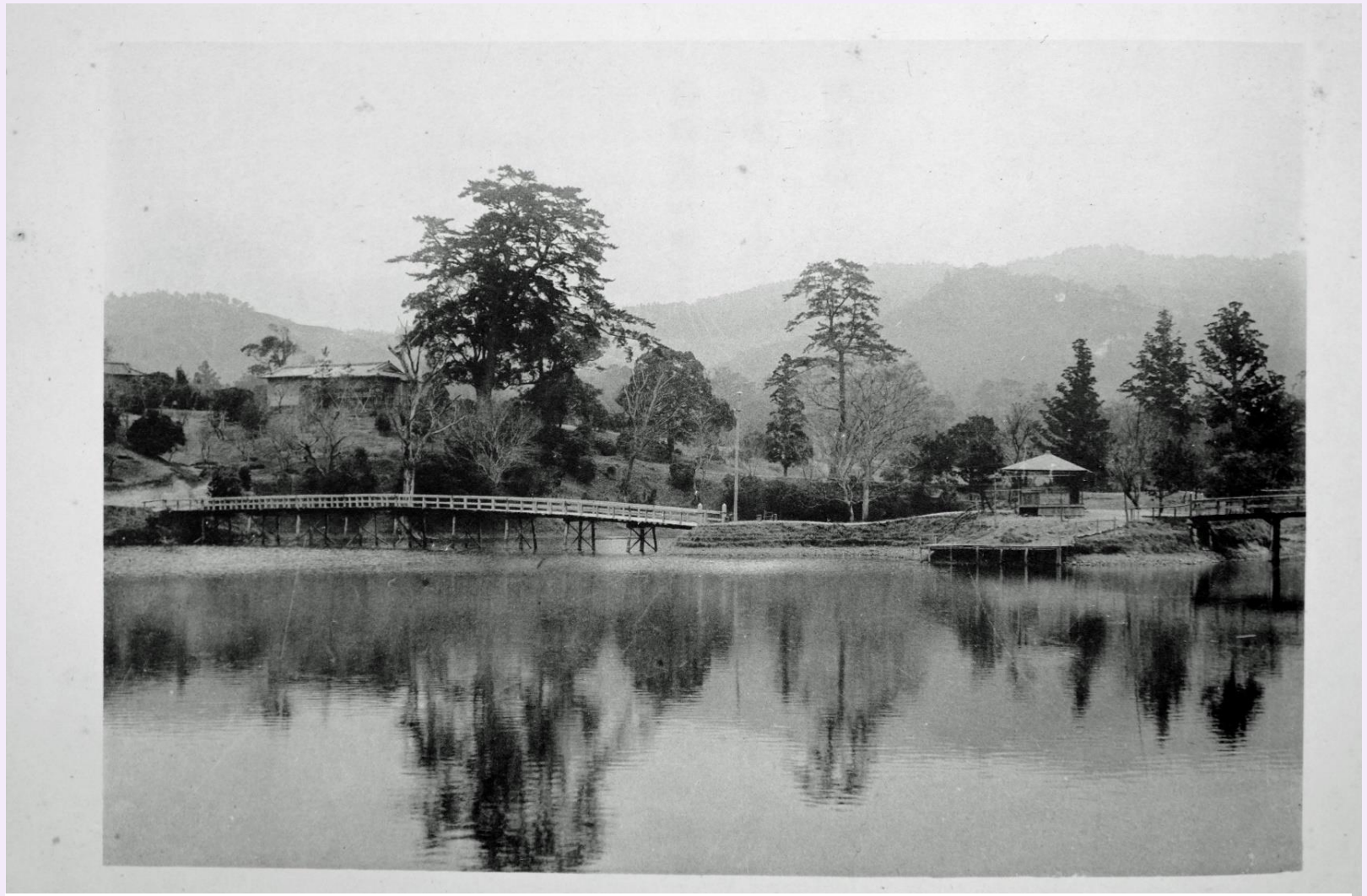
明治41年（1908）奈良公園蓬萊池（鷺池）完成

明治21年に灌漑用に荒池が増築されたのに続き、その上流に貯水池として明治41年に蓬萊池が造られた。

明治44年頃からボートを浮かべるようになった。

大正5年に浮見堂ができた。

写真は浮見堂ができる前。



大正初期 奈良公園蓬萊池（鷺池）

奈良県名勝写真帖より（発行：大正4年） 奈良県立図書館蔵

明治42年（1909）県立戦捷記念図書館

近代化遺産

明治42年（1909）日露戦争戦勝記念として奈良公園内に築造された、木造二階建ての図書館建物である。大正12年（1923）からは県立奈良図書館と改称され、昭和43年

（1968）まで使用された。県立奈良図書館は奈良県立文化会館併設の新館へ移転。旧建物は郡山城跡に移築され大和郡山市民会館（城址会館）として利用されている。

県立奈良図書館は平成14年閉館し、新たに奈良県立図書館が開館した。



県立戦捷記念図書館

奈良名勝写真帖より 奈良県立図書館蔵

明治 42 年 (1909) 奈良ホテル開業

近代化遺産

奈良ホテルの設計は東京駅と同じ辰野金吾。外国人観光客の宿泊施設整備を目的とした 100 年以上前の「インバウンド対策」として、鉄道院（後の国鉄）が中心となり巨費を投じて高級ホテルとして建設された。戦後米軍に接收され昭和 27 年解除。昭和 28 年ホテル営業再開。昭和 58 年国鉄と都ホテルで、株式会社奈良ホテル設立。



奈良ホテル

奈良名勝写真帖（大正 4 年発行） 奈良県立図書情報館蔵

明治42年(1909) 奈良女子高等師範学校開校 (現在の奈良女子大学)

近代化遺産

設計者は山本治兵衛。
奈良公園付近は和風に
縛られてきたが洋風木
斛(もっこく)造り。
屋根には風窓やとんが
り帽子の小屋根。前庭
を囲う両側の建物も同
様式で学園らしい。
奈良女子高等師範学校
は、当時東京にしかな
かった女子高等師範学
校を奈良に新設したも
のである。
昭和24年(1949)
国立学校設置法により
奈良女子大学となる。



奈良女子高等師範学校本館(現・奈良女子大学記念館)新築工事
写真:尾田組 開校当時